

これまでのとりくみ(P・D)

研究主題

考えをわかりやすく伝えるための情報活用能力の育成

～相手意識を持ち、情報を整理し、わかりやすくまとめる力を育てる～

〈取り組み〉

○読書の推進

○情報を活用する授業の充実(R6年度 情報収集 → R7年度 情報の整理・分析)

○授業でのICTの活用

全国学力・学習状況調査の結果より(C)

教科の結果より

○資料が1つなら読み取ることができるが、複数になると難しくなる

【国語】 2三(資料が1つだけ) 無答率 1.2%

3三(2)(複数の資料) 無答率 16.3%

○自分の考えを自由に表現することに課題がある

【国語】 3三(2) 無答率 16.3%

【算数】 正答率 知識・技能 71.7% 思考・判断・表現 50.3%

○実際に体験していないとイメージを持ちにくい

【理科】 2四 正答率 本校 38.4% 大阪府 49.7% 全国 55.1%

児童質問より

※数値は肯定的回答

○指示があればできるが、自分で考えて行動することが苦手

・人が困っているときは、進んで助けていますか 本校 88.2% 全国 93.7%

・分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか(よく当てはまる) 本校 30.6% 府 34.6%

これからとりくみ(A)

○どの教科でも自由に書く場面を作る。

(自由に書けるようにするために型や表現を学ぶときは使うことを意識して指導)

○実際の生活と結びつけて実験や体験をさせる。

○指示を出すときは意図を明確にする。高学年では、自分で考えさせる場面も作る。